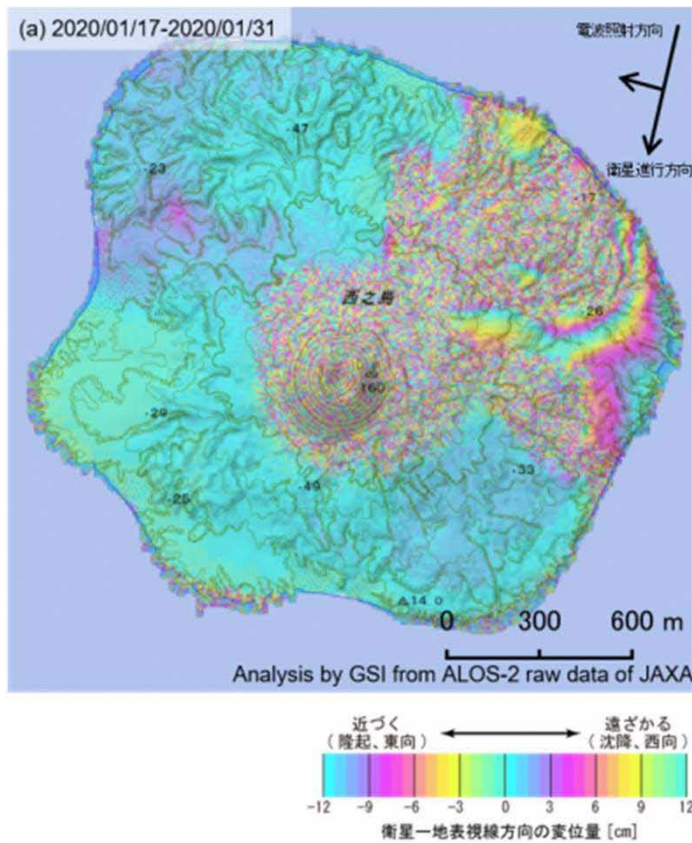


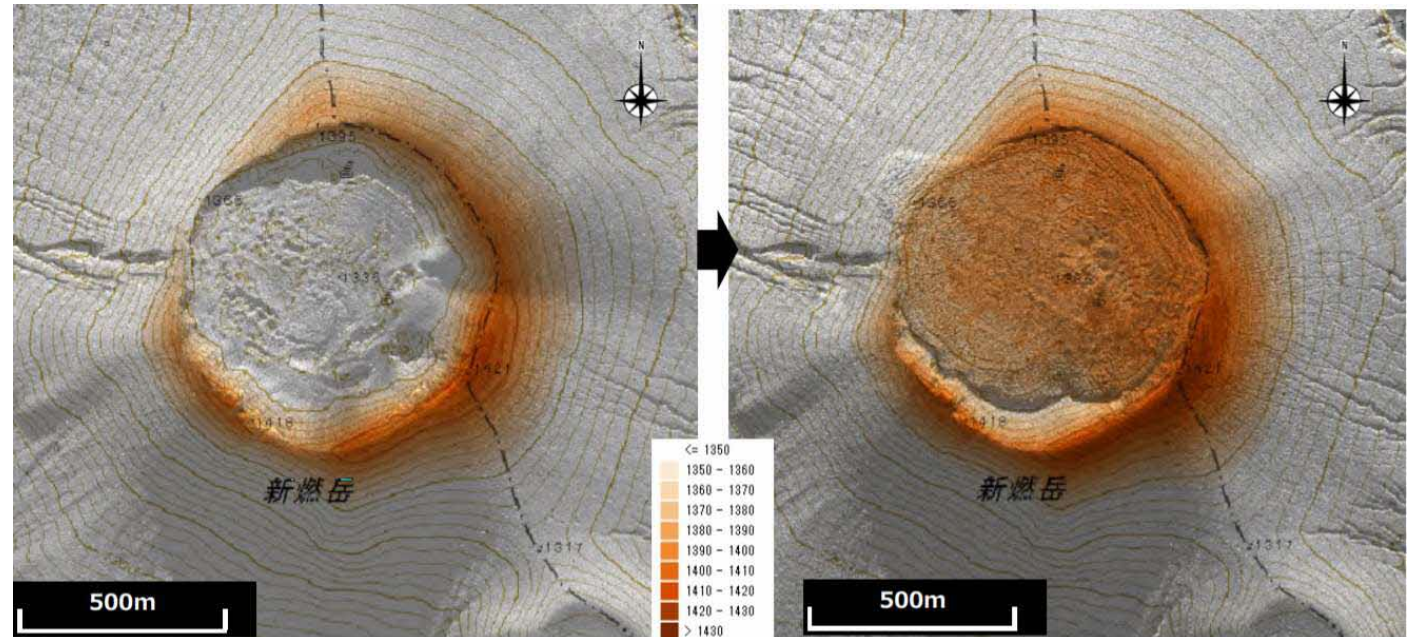
合成開口レーダー (SAR) : 雲や噴煙の影響を受けずに観測可能

西之島 (だいち2号SAR)



2020年1月17日
~1月31日の変化

霧島山 (新燃岳) 火口 (航空機SAR)



2017年10月12日

2018年3月28日

- 令和3年7月1日からの大雨による熱海市で発生した土砂災害において、
国土地理院はTEC-FORCE隊員を延べ40人日（実人数14人）派遣
- 現地での被害状況の情報収集、地理情報に関する支援ニーズの把握、被災状況調査など、
早期復旧に向けた地方公共団体支援を実施



地理院地図に崩壊地等分布図（第3版）を重ね合わせ

リエゾン班

期間：7月4日（日）～7月9日（金）
職員：延べ17人・日（実人数7人）
派遣箇所：静岡県庁、熱海市役所

被災状況調査班（くにかぜ班）

期間：7月3日（土）～7月6日（火）
職員：延べ8人・日（実人数2人）
活動状況：測量用航空機による被災状況調査

被災状況調査班（GSI-LB）

期間：7月5日（月）～7月7日（水）
職員：延べ15人・日（実人数5人）
活動状況：UAVによる被災状況調査

※政府の防災基本計画において、国土地理院は航空機、無人航空機等による目視、撮影等による情報収集を行うとともに、画像情報の利用による被害規模の把握を行うものとされています。